



1e2015-003

2015 会計年度

一般財団法人ワンアース
事業報告書

平成 27 年 10 月

一般財団法人ワンアース



1e2015-003

はじめに

一般財団法人ワンアースは、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく、という目的を掲げ、平成 27 年 6 月 5 日に創立された。

本書は、当財団の初年度の事業報告である。

なお、当財団の事業年度は 10 月 1 日に始まり 9 月 30 日に終わる。

平成 27 年 10 月
代表理事
長谷川洋一



1e2015-003

1. 当財団設立の目的

宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく

宇宙飛行士が、宇宙から生々しい言葉と映像を伝える時代になり、この星のありのままの姿が認知されるようになった。その結果、かけがえのない母星で共に生きる『地球市民』という新たな価値観が、国境を越えて醸成されつつある。

一般財団法人ワンアース®(以下、ワンアースという)は、地球市民、とりわけ未来を担う青少年らとともに、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを学ぶ。

そして、国境を越えた地球市民活動を展開し、各地域の風土や文化の多様性を、相互に敬意を持って受け入れ、宇宙文化とも言える新たな共通の価値観を紡ぎ出す。

これらの活動により、この星に生きる誇りと喜びを共有し、世界を一つに繋いでゆくことを究極の目標とする。

2. 重点分野

当財団は、以下の分野を重視して、活動をスタートした。

1) きぼうの桜事業

宇宙を旅した「きぼうの桜」群を筆頭に、「ソラユリ(宇宙を旅したササユリ)」「宇宙すみれ春野・希望(宇宙を旅したコスミレ)」を、東日本大震災、阪神淡路大震災、日航機墜落事故、原爆等の被災地に贈呈し、復興と市民交流を支援するとともに、大災害の記憶を人類共有の教訓として継承していく。

2) 宇宙文化の創造事業

国内外からの地球市民の参加を得て、国際宇宙ステーション等を活用した宇宙ミッションを実施し、宇宙的視野からみた地球の姿および宇宙飛行士からのメッセージなどを世界で共有し、宇宙文化を創造していく。



1e2015-003

3. 機関設計

評議員3名 理事4名 監事1名 ☆常勤1名

評議員 赤木一朗(オリーブアカデミー代表)
野澤汎雄(プロデューサー)
村田さち子(詩人)

理事 ☆長谷川洋一(代表理事)
踊場敏子(多摩さくらびと)
工藤園子(元日本さくらの女王)
三船文彰(音楽プロデューサー)

監事 内田斉(実業家)

名誉顧問 セルゲイ・アウデエフ宇宙飛行士(ロシア連邦英雄)
リロイ・チャオ宇宙飛行士(第10代国際宇宙ステーション船長)
山崎直子宇宙飛行士 ほか、国内外の有識者、宇宙飛行士 等

顧問 日本各地の桜守、芸術家、文化プロデューサー 等

【主たる事業所】 〒301-0003 茨城県龍ヶ崎市平台 4-20-6

【ホームページ】 <http://www.the-one-earth.org/jp/>

【電子メール】 info@the-one-earth.org



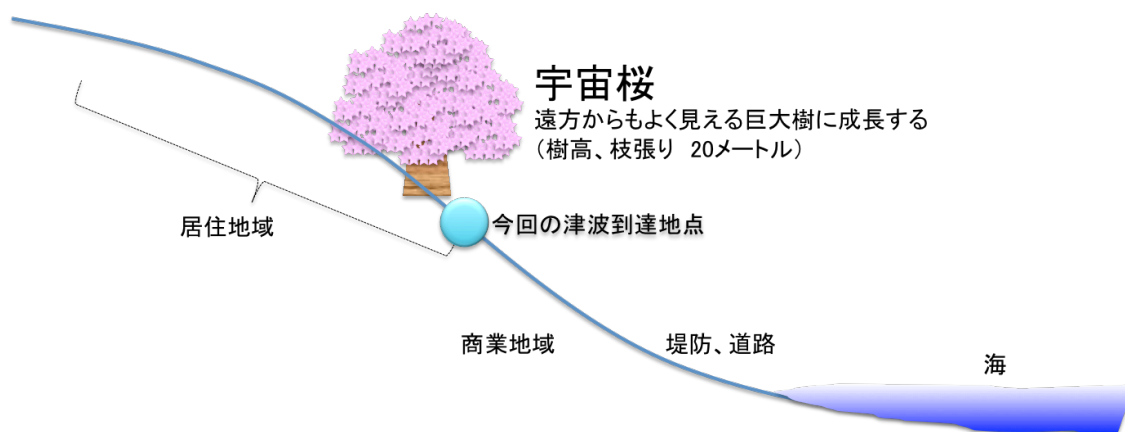
1e2015-003

4. 2015 年度事業報告

2015 年度(2015.6.5-2015.9.30)には、以下の事業を行った。

1) きぼうの桜

きぼうの桜事業とは、宇宙を旅した「きぼうの桜」を、再生のシンボルとして復興各地に贈呈・植樹する事業であり、桜の植樹後、恒久的な養育までを含むため、その事業期間は千年以上と想定している(当面の表記上は、3011 年 3 月 11 日までとする)



この事業をきっかけに、各地の市民・青少年交流を醸成し、ワンアースが掲げるあらたな夢と希望の宇宙文化活動を展開していく

きぼうの桜事業の詳細については文書番号 1e2015-002「きぼうの桜計画」に定めるが、本年度の業務範囲は、以下の通りであった。

- ① 宇宙桜を保有する各地域を廻り、復興のための苗の提供に係る協力を取り付けた
- ② 東北三県沿岸の各市町村に対し、当該計画を書面で提案した
- ③ 東北三県沿岸の各市町村(復興支援課、総務課等 適切な部署、または市町村長)を訪問し、当該計画の直接説明を行い、理解が得られるよう努めた
- ④ 提案の了承が得られた市町村に関しては、宇宙桜の植樹に関する具体的な計画立案に着手した。



1e2015-003

2) 広報

- ① ワンアースのホームページを制作、リリースした
- ② ワンアースのパンフレットを制作、リリースした
- ③ ワンアースのお披露目パーティーを行った
- ④ 学会発表、展示等
 - 学会発表： 日本櫻学会 口頭(2015.6.21)
 - 学会発表： 生態工学会 ポスター(2015.6.27-28)
 - 講演： 『Mother Nature 母なる自然と癒し』 淡路島(2015.8.9)
 - 国際宇宙物理科学シンポジウム(ISPS-6 in Kyoto) 展示(2015.9.14-18)
 - ラジオ： 大村正樹のサイエンスキッズ 文化放送(2015.9.26 & 10.3)
- ⑤ 報道等
 - 山梨日日新聞(2015年8月28日 写真入り)
 - 朝日新聞(2015年9月5日 山梨版 文字のみ)
 - 八ヶ岳ジャーナル(2015年9月16日 写真入り)
- ⑥ その他
 - クリアフォルダー、エコバッグ、ピンバッジを制作し、配布した。



1e2015-003

5. 今後の事業計画概要(長中期事業項目 2016-2020 年)

今年度の活動を踏まえ、一般財団法人ワンアースの社会的使命を果たすため、中長期的には以下の事業に取り組む。

- 1) 宇宙桜等の保護、育成、増殖及び活用
- 2) 東日本大震災、阪神淡路大震災等復興地への支援活動
- 3) 青少年等の夢をはぐくむ宇宙文化創造事業(市民参加型宇宙ミッション含む)
- 4) 宇宙文化交流事業(海外への桜贈呈等含む)
- 5) 地球市民参加型宇宙ミッション(花伝説世界版、地球のかげら など)

これらに関しては、今年度の事業結果を礎に、次年度以降の事業計画に反映していくものとする。

なお、次年度は、公益財団法人化への申請を事業目標に加えることとしたい。

以上

【事業報告の附属明細書】

1e-2015-002:「きぼうの桜計画書」